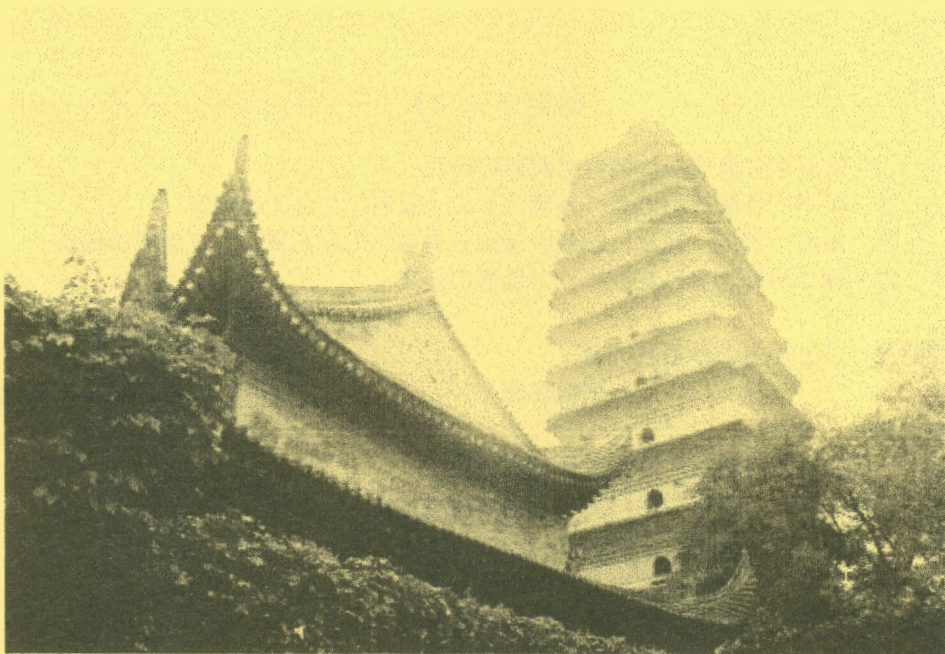


東アジア世界史研究センター 平成22年度 公開講座

遣唐使外交の終焉と 東アジア・日本



西安 小雁塔

文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業（オープン・リサーチ・センター整備事業）

「古代東アジア世界史と留学生」

日時：平成22年7月10日（土）13:00～17:00

会場：専修大学生田校舎10号館2階10203教室

東アジア世界史研究センターの研究計画〈概要〉

【研究目的】

これまでの東アジア世界を対象とした歴史研究プロジェクトは、壮大なテーマを掲げて取り組んできましたが、本プロジェクトは、追求すべきテーマを絞り込み、古代東アジア世界を流動した人々との対比を視野に入れた上で、東アジアの国々が、様々な文化・文物の流入を期待し、それを直接に担った「留学生」に焦点を絞り、テーマを設定しました。

先進文明国に位置する中国への留学生は、文化・文物を「移植」・「媒介」した存在ではありますが、その果たした歴史的な意義は、十分に明らかにされていません。

本プロジェクトは、本学大学院が発見に大きな役割を果たした「遣唐使井真成墓誌」で培われました中国西北大学大学院との共同研究（その成果の一部は『遣唐使の見た中国と日本』朝日新聞社、2005年、として刊行）を基礎として、1. 隋・唐代の中国を訪れた東アジアからの留学生の全貌を明らかにした上で、2. 古代東アジアの国々への影響を解明するものがあります。これは、文物の「媒介者」の歴史的意義を問う試みであり、グローバル化した現代において見失われがちな「媒介者」の正当な位置づけとその果たしている重要性を確認させる点において、現代的な意義を有する研究といえます。また、研究計画を遂行する中で、日本人に限定しないで、東アジア世界の若手研究者の育成を目的の一つにしていることも、本プロジェクトの特徴となっています。

【研究テーマ】

- ① 遣唐使井真成墓誌関係史資料の研究
- ② 日本・中国・朝鮮の「留学生」史・資料についての研究
- ③ 政治・制度・文化・思想の接触と受容からみた東アジア世界の研究
- ④ 物の移動からみた東アジア世界の研究

・研究プロジェクトの参加研究者

		研究課題	参加調査・研究チーム
専修大学			
荒木 敏夫		東アジアにおける政治史	①・③*
矢野 建一		東アジアにおける留学生の位置	①*・③
亀井 明德		東アジア世界と中国・日本	③・④
高久 健二		東アジア世界と中国・日本	③・④
土生田 純之		東アジア世界と朝鮮・日本	③・④*
飯尾 秀幸		律令制度と東アジア世界史	②*・③
内藤 雅雄		東アジア世界と南アジア世界の交流	③・④
田中 正敬		東アジア世界のなかの朝鮮半島	③・④
松原 朗		東アジア世界における文化的人的交流	②・③
土屋 昌明		東アジア世界における文化的人的交流	②・③
巖 基珠		東アジア世界における文化的人的交流	②・③

*は各研究テーマのチームリーダー

西北大学（中国）

王 建新		東アジア世界と中国	③・④
王 維坤		東アジア世界と中国	③・④

リサーチ・アシスタント

伊集院 葉子		専修大学大学院文学研究科博士後期課程（日本古代史）
窪田 藍		専修大学大学院文学研究科博士後期課程（日本古代史）
福島 大我		専修大学大学院文学研究科博士後期課程（中国古代史）

平成22年度公開講座 テーマ

遣唐使外交の終焉と東アジア・日本

プログラム

趣旨説明

13:00~13:20

荒木 敏夫

(東アジア世界史研究センター代表/専修大学教授)

講演

13:20~14:20

皆川 雅樹 (専修大学附属高等学校教諭)

「モノから見た遣唐使以後の

東アジアの交流」

14:20~14:30

休憩

14:30~15:30

佐藤 宗諄 (奈良女子大学名誉教授)

「大陸文化の「日本化」と国際交流

～白詩と道真～」

15:30~15:50

休憩

15:50~17:00

討論

司会・進行

飯尾 秀幸 (東アジア世界史研究センター研究員/専修大学教授)

矢野 建一 (東アジア世界史研究センター研究員/専修大学教授)

■ 講師紹介

■ 荒木 敏夫（あらかし おしお） 専修大学文学部教授

東京都立大学大学院人文科学研究科史学専攻（博士課程）退学

【主要著書・論文】『可能性としての女帝—女帝と王権—』（青木書店、1999年） 『日本古代王権の研究』（吉川弘文館、2006年） 『日本の女性天皇』（小学館、2006年）

■ 皆川 雅樹（みながわ まさき） 専修大学附属高等学校教諭

専修大学大学院文学研究科博士後期課程修了・博士（歴史学）

【主要著書・論文】「平安期の「唐物」研究と「東アジア」」（『歴史評論』680号、2006年） 「『国風文化』再考・覚書」（『紀要（専修大学附属高等学校）』29号、2008年） 「「琴」の贈答—仁明天皇の算賀を手がかりとして—」（『アジア遊学』126号、2009年） 「「ヒト・モノ・情報」の交流と遣唐使研究」（『東アジア世界史研究センター年報』3号、2009年）

■ 佐藤 宗諄（さとう そうじゅん） 奈良女子大学名誉教授

京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学

【主要著書・論文】『平安前期政治史序説』（東京大学出版会、1977年） 『日本の古代国家と城』（編著、新人物往来社、1994年） 「貴族政治の展開」（『講座日本歴史2』、東京大学出版会、1989年）

■ 司会紹介

■ 飯尾 秀幸（いひお ひでゆき） 専修大学文学部教授

東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学

【主要著書・論文】『中国古代社会史論』（共訳、名著刊行会、1997年） 『中国史のなかの家族』（山川出版社、2008年） 「中国古代の法と社会」（『岩波講座、世界歴史』（第5巻、岩波書店、1998年） 「中国古代における個と共同性の展開」（『歴史学研究』729号、1999年） 「中国国史研究は進んだか」（『歴史学研究』782号、2003年） 「中国古代における人の移動とその規制に関する基礎的研究」（『専修大学人文科学年報』37号、2007年）

■ 矢野 建一（やの けんいち） 専修大学文学部教授

立教大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学

【主要著書・論文】『遣唐使の見た中国と日本』（共著、朝日新聞社、2005年） 『長安都市文化と朝鮮・日本』（共編著、汲古書院、2007年） 『長安都市文化と朝鮮・日本』（共編著、三秦出版社、2008年） 「井真成研究—その後の研究動向によせて—」（『人文科学年報』37号、2007年） 「中国における入唐留学生研究の動向」（『人文科学年報』38号、2008年） 「遣唐使の派遣と春日山祭祀」（『東アジア世界史研究センター年報』1号、2008年）

東アジア世界史研究センター

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1

TEL/044-911-1283 FAX/044-911-1348

E-mail: east-asia@isc.senshu-u.ac.jp

主催：専修大学社会知性開発研究センター／東アジア世界史研究センター